



## 事例 NO.53

## 中国で発行された栄養学分野の学術雑誌名、および研究動向を調査した一例

## ・質問

京大図書館に、中国語での栄養関係の雑誌があれば、タイトルが知りたい。

[学内者 (名誉教授の秘書), Email 受付, 2011年5月]

## ・調査の経緯

まず質問者に確認したところ、「栄養学」について、中国でどんな学術雑誌が発行されているか、できれば目を通して中国での研究動向が知りたい、ただし質問者は中国語が読めないのが、英文抄録のある文献が望ましいとのことだった。また、筆者も中国語が扱えないため、検索にあたっては適宜 Google 翻訳を活用し、「栄養」の中国簡体字である「营养」や、英語の nutrition (栄養), dietetics (栄養学) を検索語の候補とした。なお、本学にない文献の取り寄せも希望されたので、調査範囲を学外にも広げることになった。

## I. 日本、中国の蔵書検索システムを使う

1. 京都大学蔵書検索 KULINE で、①キーワード欄に「营养\* + nutrition\* + diet\*」(\*は前方一致, +はOR 検索の記号), ②中国の出版物に限定 (出版国コード欄に中国のコードである cc を入力), ③雑誌もしくは電子ジャーナルに限定, の3つの条件を掛け合わせて学内所蔵を検索した。しかし、当てはまる資料は確認できなかった。
2. 上記1. と同じ条件で KULINE から「他大学を検索」(NACSIS-CAT 検索サーバの検索) を行った結果、4誌がヒットした。そのうち3誌は植物・土壌の肥料に関するものであり、栄養学に関するものは1誌のみ

だった (『东方食疗 & 保健』)。

3. 国立国会図書館アジア言語 OPAC で、言語を「中国語」、区分を「雑誌」に限定し、書名に「营养\*」と入力して検索したところ、1誌がヒットした (『营养学报』)。
  4. 中国の大規模大学、北京大学の図書館蔵書検索で、検索欄に「营养」と入力し、「期刊刊名」(誌名) を検索すると、14誌がヒットした (『中国临床营养杂志』『中国保健营养』など)。書誌情報に「有英文目次」とあり、英文抄録付きである可能性が高い雑誌も発見できた。
  5. 中国国家図書館の蔵書検索で、検索欄に「营养」と入力し、「中文期刊」(中国の雑誌) に絞り込んで検索すると、115誌がヒットした (『食药菌』『食品指南』など)。ただし、検索結果には大衆向け雑誌と思われる誌名も混在しており、書誌情報だけで学術雑誌を選別することは難しかった。
2. ~ 5. の結果、栄養学関連の誌名をいくつか確認することができた。

## II. 雑誌論文データベースを使う

本学で利用可能な「CNKI」(中国の学術雑誌、新聞、学位論文などの文献データベース) で「营养」をキーワードに検索し、ヒットした論文情報から栄養学関連の雑誌を探した。また誌名 (検索項 (検索フィールド) は「刊名」を指定) に「营养」が含まれるものを検索すると、I. の蔵書検索で判明した雑誌の目次情報を一部確認できることがわかった (図)。



刊名	巻号	期号	年次	頁数
中国(华)临床营养杂志	第12卷	第1期	2011	1-4
中国(华)临床营养杂志	第12卷	第2期	2011	5-8
中国(华)临床营养杂志	第12卷	第3期	2011	9-12
中国(华)临床营养杂志	第12卷	第4期	2011	13-16
中国(华)临床营养杂志	第12卷	第5期	2011	17-20
中国(华)临床营养杂志	第12卷	第6期	2011	21-24
中国(华)临床营养杂志	第12卷	第7期	2011	25-28
中国(华)临床营养杂志	第12卷	第8期	2011	29-32
中国(华)临床营养杂志	第12卷	第9期	2011	33-36
中国(华)临床营养杂志	第12卷	第10期	2011	37-40
中国(华)临床营养杂志	第12卷	第11期	2011	41-44
中国(华)临床营养杂志	第12卷	第12期	2011	45-48

図. CNKIでの検索結果 (検索条件: 誌名に「营养」を含む)

### Ⅲ. 雑誌のウェブサイトを使う

I. の蔵書検索でヒットした誌名をGoogleで検索して、雑誌のウェブサイトを探した。その結果、例えば『中国(华)临床营养杂志』などは最新号の目次情報や抄録(英文付き)をサイトで入手できることがわかった。

### Ⅳ. 引用文献データベースを使う

本学で利用可能なWeb of Science (以下, WoS) で、「nutrition」をキーワードに検索し、その結果から「国/地域」を中国 (WoSの表示は「PEOPLES R CHINA」) に、「主題分野」を「NUTRITION & DIETETICS」に絞り込んだ。WoSは各分野のコアジャーナルを収録しており、これにより中国の研究者が国外の学術雑誌に投稿した栄養学関係の研究論文を一覧できる。また、他のキーワードや、著者所属、著者名などから関連文献を辿ることで、I.~Ⅲ. の調査では見えてこなかった中国での研究動向を知る手がかりとなる。

### ・回答

ご自身で調査していただけるよう、前述のI.~Ⅲ.の利用手順と検索結果例を伝えた。Ⅳ.については、「栄養学についての中国での研究動向を知りたい」という質問から、中国国内だけでなく、国外雑誌への投稿論文も調査対象として検索する方法の一例として紹介した。

### ・情報源

- 1) KULINE-京都大学蔵書検索 詳細検索 [internet]. <https://op.kulib.kyoto-u.ac.jp/webopac/catsrd.do> [accessed 2011-05-31]
- 2) 国立国会図書館アジア言語OPAC [internet]. <http://asiaopac.ndl.go.jp/> [accessed 2011-05-31]
- 3) 北京大学图书馆馆藏目录 [internet]. <http://162.105.138.200/uhtbin/cgiirsi/0/0/0/49> [accessed 2011-05-31]
- 4) 中国国家图书馆·中国国家数字图书馆馆藏目录 [internet]. <http://opac.nlc.gov.cn/F> [accessed 2011-05-31]
- 5) CNKI [internet]. <http://cnki.toho-shoten.co.jp/> [accessed 2011-05-31]
- 6) 中华临床营养杂志 [internet]. <http://www.cjcn.cn/> [accessed 2011-05-31]
- 7) Web of Science [internet]. <http://isiknowledge.com/wos> [accessed 2011-05-31]

### ・ポイント

医学分野では普段縁がない、中国語翻訳サイトと、CNKIが活用できた。

(京都大学医学図書館 菊池 香織)